事例No.	2773
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人アスヘノキボウ

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・移住定住 ・人材確保・育成

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

将来的な定住人口の増加と町に賑わいと活力をもたらす活動人口の創出促進

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



将来的な定住人口の増加と町に賑わいと活力をもたらす活動人口の創出促進

特定非営利活動法人アスヘノキボウ

DATA

事　例　名：NPO法人アスヘノキボウ
所　在　地：宮城県牡鹿郡女川町女川2丁目4番地
連　絡　先：TEL 0225-98-7175
　　E-mail info@onagawa-future.jp
ホームページ：https://asuenokibou.jp/

取組の概要

東日本大震災の影響により、人口が震災前の約6割まで減少した女川町では、今後、日本全体で人口減少が進むことを踏まえ、人口増ではなく持続可能なまちづくりを目指し、女川に住む人に限らず、女川をフィールドとして活動する人「活動人口」を増やすことを選択。特定非営利活動法人アスヘノキボウは、女川町からの委託を受け「活動人口創出促進事業」に取り組んでおり、女川町への移住を体験できる「お試し移住プログラム」や、創業場所を女川町に限定せず、広く創業希望者を支援する「創業本気プログラム」、企業・大学等との連携及び研修の受入れ等を行っている。

評価された点

- 震災後の地域復興に向けて、移住体験や創業・起業支援のプログラムを構築し、来訪者、定住者、起業家を多数生み出し、成果を上げている点を評価。
- 行政と協力し重要課題の震災復興を行う中核としての役割を果たしている。住民にこだわらず住んでいなくても関われる枠組みを用意している点も可能性を感じる。
- 域外から起業家が支援にやってくるのではなく、起業家を女川町で鍛えて送り出している点を評価。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ

・東日本大震災の発生。
・町内の人口減（震災前から6割減）。

2015年～

お試し移住プログラム

・2015年より開始。
・延べ600人以上が参加。参加後のまちへの再訪率は70％を超える。



2015年～

女川フューチャーセンター Camass

・女川町の活動人口の拠点となるコワーキング及び多目的スペース。



2016年～

創業本気プログラム

・地方での起業に特化した支援プログラム。
・1年に上期・下期の年2回開催。2021年度までに合計47人の卒業生を輩出。



今後の展望

・オンラインの活用。
・プログラム参加者との定期的な情報交換。
・アフターコロナを見据えた事業の展開。

受賞者のコメント

女川町民の皆様、そして女川町に関わってくださる皆様に心より感謝申し上げます。今回受賞者がたまたま私たちでありましたが、地域に関わる皆でいただいた賞です。
活動人口の取り組みは、女川町と出会う機会をつくり、女川町に関わる人が面白い、楽しいと思えることに全力で取り組めるようにサポートする役割を担っています。これからも「あたらしいスタートが世界一生まれる町へ。START ONAGAWA」を担う一員として尽力します。今後とも応援よろしくお願いいたします。